

剣山・巖島神社・秋吉台・姫路城報告

【山行日】 2015年 5月 13～17日(水～日)

【集 合】 野木町島田宅 AM 4:00

【費 用】 マイカー1台 : 67,500円

【メンバー】 CL:鈴木 大西、島田、関、
田村、松館、渡辺

15日 晴れ ロングドライブで見ノ越まで行き、剣山頂上ヒュッテに泊る

野木町島田宅 4:00＝見ノ越リフト乗り場P14:30++西島 14:50～頂上ヒュッテ 15:40

走れ！走れ！四国の徳島県まで、7人を乗せてひ



たすら見ノ越を目指す！

通勤渋滞も想定内で、トイレ休憩をとりながら走る。

明石大橋を渡り、淡路SAで昼食となる。

各自食べたいものをゲットしてニコニコ顔で昼食をする。

淡路 SA からの景色は何回見ても素晴らしい。

いつもの通りお土産を買い、少ししてまた車移動となる。

美馬ICから一般道に出て、スピードが緩やかになる。

途中、道の駅「貞光」によりトイレ休憩。

野菜直売所には新鮮な野菜が並び、とても安くお買い得。

でも旅は始まったばかり、残念だが諦める。

今回は3度目の剣山ですが、超狭かった道の一部分が拡幅されて走りやすい道路になっていた。

見ノ越リフト乗り場に車を置き、リフトで標高 300mを15分で稼ぐ。尾根道コースを50分かき一泊目の宿、剣山頂上ヒュッテに向けて登って行く。

天気が良く、新緑の登山道は爽やかに歩ける。

前回泊まった小屋は修理中で、別館の“雲海荘”に宿泊することになる。

小屋が創業60周年と言うことで、記念の手拭いを頂きました。“ラッキー！”

部屋は2部屋いただき、男女に分かれて寝られとても快適な山小屋だった。

私は服装が少し薄着で寒さを感じたが、小屋にお風呂があり温まることができました。

夕食は心のこもったお料理で満足でした。今朝2時半起きで眠いので早々に布団に潜り眠りました。

大西記



16日 晴れ 剣山山頂から次郎笈へ登って下山し、しまなみ海道をドライブして宮島へ

頂上ヒュッテ 5:50～剣山 6:00～次郎笈 7:00/7:10～剣山 8:10～西島 8:55+++見ノ越P9:20＝石鎚山SA11:50/12:20＝宮島口 15:30～宮島棧橋 15:45～ゲストハウス「菊かわ」15:55

今年の第一目標である剣山、今回2日目の日程で登る予定。早朝ご来光を見て、朝食を済ませいつものストレッチをしていざ出発。剣山ヒュッテより剣山頂上までは木道をたどり、ほんの10分で行ける超楽チンコースです。なので、家族づれが多いのも頷けます。私にとってこんな楽チンで良いのか？でも前日剣山ヒュッテまで約1時間歩きヒュッテからの約10分なのだから……。





山頂は360度の眺望が得られ高原のように広く、植生保護のため板が敷き詰められていた。ここは別名「平家の馬場」と呼ばれたそうで、一面平らで広く、その360度の景色を堪能した。少し下に旧気象観測所跡？が有、これから登るジロウギユウへの尾根から山頂も見ることができる。1等三角点有、皆でタッチ。この景色を楽しんだ後、本日は時間で行けるところまで行くB班と、次郎牛山頂を目指すA班に別れ出発。ここからの下りの眺めはこれから歩く尾根がよく見え（歩くところが見えるのはとても良い心地だ）気持ちがウキウキする。ミヤマクマザサの気持ちが良い尾根

を下ると、少しずつではあるが登りになっていく。それほど急な登りではなく、1時間ぐらいで頂上に着き、ここからも360度の眺望を堪能する。あれが三嶺？とにかく稜線がいい。気に入りましたよ、三嶺？いつか機会があれば登ってみたいナ。水分補給で果物を頂き、もと来た登山道を今度は下る。少し行くとB班の姿を捉えることが出来た。見え隠れしながらも後を追うことにする。剣山頂上で合流しコクのあるトマトを頂き 剣山山頂 と書かれた3本の柱のところで記念撮影。これで私の目標『四国2山』



は ともかくにも達成だ。整備された木道を、来るときとは違ったもう一方の道を歩き、広いテラスのようなその舞台？にでる。ここで思いっきり360度のパノラマを楽しみ、私にとってあつという間の剣山山頂でした。帰りは剣御神水のある大剣登山道を下り、西島からリフトにて見ノ越まで行き今晚宿泊する宿「菊かわ」旅館へと向かった。美馬ICから高速に乗り、途中の石鎚山SAに寄り昼食を食べる。そしていよいよ楽しみにしていたしまなみ海道へ入り、絶景海ドライブ。四国今治と尾道

を結ぶ「しまなみ海道」から見晴らす島景色は本当に素晴らしい。途中、国産レモン発祥の地生口島にある瀬戸田PAに寄り、お買い物。尾道から山陽道に入り、宮島口へ行き車を置いて宮島へ船で向かう。宮島のフェリーターミナルから、今宵の宿「菊かわ」までは歩いて5分くらい。こじんまりと落ち着いた宿で、厳島神社や表参道のお土産屋に近く便利な場所。夕食後、ライトアップされた厳島神社を見に散策に出かけ、明日も朝食前に全員で散歩する約束し床に就いた。



K・S 記

17日 晴れ 厳島神社を参拝し、ロープウェーで獅子岩駅へ行きパワースポットの弥山へプチ登山後、秋吉台へ向かう。

ゲストハウス「菊かわ」8:00～巖島神社 8:10/8:40～もみじ谷駅 9:00+++獅子岩駅 9:20～本堂 10:00～
 弥山 10:30～獅子岩駅 11:00+++もみじ谷駅 11:20～「ふじたや」11:50/12:30～巖島神社 12:45/13:10～
 宮島棧橋 14:00～宮島口 14:15＝湯遊の郷「天宿」16:00



心配した雨も降ってなく、5時に起床し全員で朝食前の散歩に出た。
 早朝で人もまばらでゆっくり巖島神社や千畳閣等周辺を散策し、ゲストハウスに戻り朝食を楽しんだ。
 『祇園精舎の鐘の声 諸行無常の響きあり…』平清盛の夢 海に浮かぶこの世の浄土を堪能する。
 予定の時間に出発、海上に建つ日本一巨大な社殿“巖島神社”に参拝した。
 私は初めての参拝で800年前につくられた荘厳な社殿に驚かされた。

紅葉谷公園を通りロープウェーを乗り継ぎ、獅子岩駅に着く。観光客が大勢歩いている。
 ここからは全員が初めて歩く。テレビ等で映像を見ているので期待が大きいのは私一人ではない。
 弥山本堂まで登る途中、瀬戸内海の島々が見え、昨日四国から渡ってきたことを思いだす。
 本堂で参拝後、霊火堂(弘法大師が修業をした時から燃え続けていると云う、消えずの火)・三鬼堂・文殊堂を拝しぐり岩を抜け弥山展望台に着く。瀬戸内海の眺めが素晴らしく歓喜の声があがる。
 ここまで登れば本望です。眺望を楽しみながら、のんびりおやつを食べてさあ～行きましょう！



干満岩(岩穴の水は満潮の時溢れ干潮の時乾く不思議な穴で塩分を含んでいる)・大日堂と一周後、駅に戻りロープウェーで下る。元気な人

達でお腹がすくのも早く、混まないうちに絶品



の穴子丼を食す。

朝、散歩していた地元の方がお勧めの「ふじたや」で、絶品のあなご飯を堪能する。

1時半頃干潮の予定が、12時過ぎには潮が引いていて大鳥居まで歩いた。あんなに潮が満ちていたのに引いて歩くことが出来大感激。大鳥居から眺める巖島神社は荘厳で、ひととき立派に見えた。





いよいよお土産調達時間となりそれぞれ忘れていた家族の顔が頭に浮かぶ。？
表参道商店街でお土産を買い、「菊かわ」に預けた荷物を受け取ってフェリー乗り場へ向かう。
フェリーに乗り、車の待つ宮島口へ。車に乗り込んで一路「錦帯橋」へ向かう。今日は首尾よく見学ができ、明日予定していた「錦帯橋」に寄って散策をした。錦帯橋は山口県岩国市を流れる錦川に架けられた木造のアーチ橋で、日本三名橋に数えられ、

また国指定名勝として、広く知られている。
橋に隣接する吉香公園は、吉川藩の居館跡などを公園として整備した歴史公園で城下町の面影が色濃く残っている。五連のアーチ橋は立派な橋で、暫く眺めていたが飽きないくらい素晴らしかった。
今日の宿湯遊の里『天宿』に4時過ぎに着いた。温泉が素晴らしく何回入れるか楽しみです。
夕食は地元の焼き蕎麦があり、初めて食した。美味しいといいながら賑やかな夕食となった。夕食後も温泉に浸かり、明日の天気を心配しながら床に就いた。



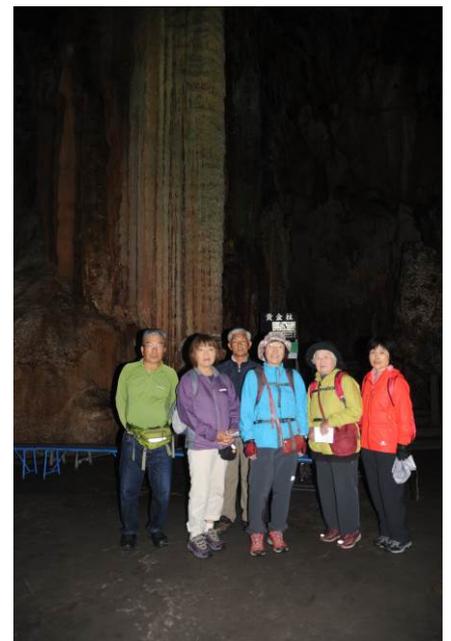
大西記

18日 雨のち晴れ 秋芳洞・秋吉台見学後、萩城・萩の城下町を観光し姫路のホテルへ
天宿 8:00＝秋芳洞入口 8:40/8:55～黒谷口 9:20＝カルスト展望台 9:30/10:00＝萩城 0:50/11:20＝萩博物館 P11:30～城下町散策 12:00＝松陰神社・伊藤博文邸 12:10/13:10＝ホテル姫路プラザ 17:30



小雨の出発となってしまった。
昨夜来の雨に一喜一憂しながら、うす暗い外の雨筋をながめていた。
朝食をすませ、八時の出発時間には雨足もおとろえ清々しい顔がそろそろ。
今日は秋芳洞と秋吉台と萩の城下町観光だ。萩城址。上級武士の住んだ武家屋敷の

見学である。
みやげもの店、食堂が並ぶ道を行くと石灰岩の細工を並べた店の多いのおどろいた。
入り口から流れにそって鍾乳洞の入り口に向かう。大正14年皇太子探勝の折、「秋芳洞」と名付けたと碑が立っている。洞内に入ると一瞬、暗さに視力を失った。照明が完備しているのですぐに慣れた。
秋芳洞。地底に広がる小さな世界である。だが思わず息を呑んだ。見まわすと重苦しい感動に満ちた。



要所々に案内板と音声ガイドがある。案内板が美しい眺めをさえぎっている所もあり残念に思った。



主だったものを拾ってみると、「五百羅漢」「青天井」「百枚皿」「洞内富士」「南京岩」「蓬莱山」「傘づくし」「岩屋観音」「黄金柱」「くらげの滝のぼり」「五月雨御殿」「マリア観音」まあまあよく名づけたものである。最初にこの地下水流を遡った人間を思う。鍾乳洞が形成されはじめて3億年・・・この数字に圧倒される。又石筍と、したたれ落ちる鍾乳石があと3糎で合体。何と不思議ユーモアがある。

又洞内は「蝙蝠」の生息地であり岩の色が変わってしまったと

言う。

「やったなあ蝙蝠」じわじわとおかしみも湧いてくる。秋芳洞を出て、秋吉台に向かう。カルトク展望台からカルスト台地を一望す。石灰岩塊の起伏、木がところどころ生えているが草原だ。一ヶ所森がある。長者が森という。

秋吉台から「秋吉台カルストロード」を通り、萩の城下町に向かった。



萩城址、指月山の山麓にある。現在は指月公園になっている。明治7年に解体され現在は石垣だけが白く陽に映えありし日を偲ぶ。歴史を振り返れば口を結んでしまう。ここから市内の中心部にある萩博物館に向かい、車を博物館駐車場に置いて市内を見学をする。

市内と云っても高級武士の住居あとである。塀越しに夏みかんが見える。失業した士族の授産事業の名残だ。木戸孝充宅、高杉晋作宅など、明治維新を駆け抜けた風雲児の住居跡を見学する。そこから車で松陰神社まで移動し、松下村塾や

松陰神社を見学する。

短期間に明治維新の原動力となった人物「吉田松陰」の育ったところである。

松陰神社の碑に「親思う心に勝る親ころ、今日の音(おと)づれ何と聞くらん」とある。

吉田松陰は、松下村塾で若人を育てたが、自分は29歳の若さで安政の大獄に座し刑死した。

そこから歩いて伊藤博文旧宅と別邸を見学し、松陰神社前の食堂で昼食を食べる。

明治維新の原動力になった、長州藩の志士たちの熱い思いが大河ドラマと重なり、またゆくりと訪れたいと思う萩の城下町だった。

萩を後に、今宵の宿「ホテル姫路プラザ」へ向かった。



田村記

19日 晴れ 世界遺産&国宝「姫路城」と好古園を見学し、ロングドライブで帰宅する。



9時入場との事でしたが、もう券売り場の所は50m以上列ができていた。

私たちもその後ろに並んだ。

城を見学しながら待つと、後方は見えないほど列ができ、早く来て良かったと安堵した。

いよいよ入場、入場口から広い石段を登り「菱の門」へ。ここから「いの門」「ろの門」「はの門」と進み、「にの門」を抜けるといよいよ天守閣への入口だ。天守閣は、地下1階地上6階の七層構造になっており、天守閣内を



学し、城を出て姫路城西御屋敷跡庭園の「好古園」を見学する。見事な庭園で松・竹・花などいろいろ区切られ、まるで迷路のような庭園。その中にある食事処で私達は昼食を食べ、庭園をながめながらゆっくり穴子丼を食べる。格別な味がし贅沢なときを過ごしました。

いよいよ帰り・・・駐車場に行く途中おみやげ屋さんで思い思いに買い求め、車に乗り栃木へ向かう。

高速道のサービスエリアに寄りトイレタイム。

私はもう車の中は夢の中。

運転手の朝ちゃん同行した皆さんお疲れ様、お世話になりました。思いで多い山旅でした。

ありがとうございました。

ホテル姫路プラザ 8:00=大手門前P8:20~姫路城
8:30/10:40~好古園 11:00/12:20~大手門前P13:00
=沼津SA18:00/18:30=野木町島田宅 22:00

今日で旅も五日目、待望の姫路城見学です。

「ホテル姫路プラザ」5時起床し、朝風呂後、朝食のバイキングをお腹いっぱい食べ、ホテルロビーに集合し7時50分に出発した。5分ほど乗ると前方に、左手にと白亜の姫路城が見え隠れしてきた。最高のお天気に恵まれ、青空に城が映え素晴らしい。大手前の駐車場に車を置き、城の入口に着くと



くまなく見る。途中にある狭間から顔を入れ西方の階下を見ると西小天守が見えた。

最上階に神社があり、今日ここに来られた事に感謝しこれからの健康を祈った。

その後天守閣を下り、備前丸の広場に出て記念写真を撮る。ここには解体修理の際制作した「鯨」が展示されており、明治・昭和・平成と制作した時代により形や大きさが微妙に違っていた。隣接する西の丸を見



